

## 令和2年度学校関係者評価委員会報告書

学校法人アリス国際学園 専門学校アリス学園学校関係者評価委員会は、令和3年2月25日に令和2年度学校関係者評価委員会を開催し、「令和2年度自己点検・評価報告書」に基づいて学校関係者評価を実施しましたので以下のとおり報告いたします。

令和2年3月31日

学校法人 アリス国際学園  
専門学校 アリス学園  
学校関係者評価委員会

### 1 学校関係者評価委員

#### 【地域住民代表兼学識経験者】

委員長

宮崎 忠夫 氏 (元金沢市伏見台町会長・元石川県立金沢伏見高等学校長)

#### 【高等学校代表】

山下 一夫 氏 (学校法人藤花学園金沢龍谷高等学校長)

#### 【介護施設代表】

中野 明和 氏 (医療法人社団仁智会 金沢南ケアハウス施設長)

寺西 祐子 氏 ("社会福祉法人愛里巣福祉会 障がい者グループホーム愛蓮施設長)

#### 【保護者代表】

太田 京子 氏 (介護福祉学科在学生保護者)

#### 【卒業生代表】

藪内 雅也 氏 (専門学校アリス学園同窓会会長)

### 2 評価項目ごとの学校関係者評価委員からの評価・意見

項目	評価・意見
1 学校の教育目標	
2 本年度に定めた目標や計画	
3-(1) 教育理念・目標	・特に問題なし
3-(2) 学校運営	・特に問題なし
3-(①②③④) 教育活動	・介護福祉学科では日本人と留学生と一緒に勉強しており、この環境は日本人の学生にとってはとても有意義なことであった。(太田委員)

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オンライン教育を実施し、成果をだしていることに驚きをもっている。アリス学園の魅力は、日本にいながら外国人に囲まれて勉強できる点だと思う。(藤井委員)</li> </ul>
4 - (①②③④) 学修成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護福祉学科は留学生の占める割合が高くなっているが、合格率が高い点は評価できる。今後もこれまで以上の取組をお願いしたい。(宮崎委員)</li> </ul>
5 学生支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資格外活動違反に対する今後の対策はありますか(中野委員)</li> <li>⇒資格外活動違反は、簡単に言うと留学生のアルバイトが、法令で決められた時間(1週間28時間、長期休暇は1日8時間)を超えてしていることが問題となっている。その対策として、アルバイト管理の徹底と学生の経済的側面を支援するなどの取り組みを行っていくものであります。(道上教務部長)</li> <li>・コロナ禍でも、色々な面で努力され柔軟な活動をしていることは評価できる。(山下委員)</li> <li>・施設でアルバイトしている留学生は、もちろん日本語を書くことを苦勞しているが、熱意が高く、日本人スタッフもいい影響をもらっている。(寺西委員)</li> </ul>
6 教育環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特に問題なし</li> </ul>
7 学生の受入れ募集	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護福祉学科で定員増をした理由は?介護希望者は少なく定員割れしている学校も多々あると聞いている。(宮崎委員)</li> <li>⇒過去2年間の介護福祉学科への志願者数が入学者定員を上回った状況となり、入学定員を20名増員いたしました。(西田教頭)</li> <li>・日本人の入学者数が減少していることが懸念されるが、社会人を対象とした実務者研修者や委託訓練生の確保にも努めて頂きたい。(中野委員)</li> </ul>
8 財務	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特に問題なし</li> </ul>
9 法令の遵守	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特に問題なし</li> </ul>
10 社会貢献・地域貢献	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学生には町内会の美化・除雪活動に協力を頂いており感謝している。今後は防災活動にも協力願いたい(宮崎委員)</li> </ul>
11 国際交流	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特に問題なし</li> </ul>
12 学校評価の具体的な目標や計画の統合的な評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全般的によく「自己点検・自己評価」を実施されている。今後も学校の質の保証と向上により一層取り組んで頂きたい。(宮崎委員)</li> </ul>